

保護者会のもち方

～授業参観、学級懇談会での配慮・工夫～

埼玉県教育局東部教育事務所

保護者会は、保護者と教師が児童生徒の学校での様子や家庭・地域での様子を持ち寄って話し合い、子どもの教育に役立てることをねらいとしています。

保護者会の内容は開催時期や学校の実情によって様々ですが、授業参観と全校単位で行う全体会（学年単位で行う学年会）、学級を単位とする学級懇談会などで構成されるパターンが一般的です。児童生徒の入学・進級から1か月程度が経過し、多くの学校で年度初の保護者会が開催されることから、ここでは、一年間の保護者会のもち方について考えてみましょう。

1 保護者会を迎えるまでに行っておくべきこと

(1) 保護者会の年間計画を確認し、教職員の中で分担された仕事を行う

職員会議や学年会議の席上で年間計画やそれぞれの時期の保護者会の実施計画が出されます。学校・学年の教職員で準備作業を分担して当日までに済ませておきます。



(2) 学級全体、児童生徒一人一人の学校生活の様子を把握し、話ができるようにする

自身の学級について、児童生徒個々の学校生活の様子を観察するとともに、学年や教科、部活動（中学校）など、それぞれの担当教師と児童生徒の情報を交換して、保護者に話（児童生徒の情報提供）ができるようにしておきます。

(3) 通信物を通して開催をPRし、自身の学級経営方針等を家庭に発信する

学校が出す開催通知とは別に、学級通信等により、さらに内容（学級懇談会の次第など）を知らせるようにします。学級通信には、担任教師としての学級経営方針や児童生徒の学校生活についての情報を掲載し、あらかじめ保護者に伝えておくこと当日の学級懇談がスムーズに進行できます。

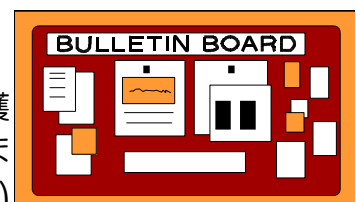
(4) 当日の出席名簿や座席札を作成する

出席名簿は児童生徒の名簿を使用し、どの子の保護者が出席しているのかを確認しやすいようにします。家庭の都合は様々ですから、名簿は1回ごとに違うものを用意すると保護者のプライバシー保護への配慮になります。

座席札は、当日出席している保護者が互いの名前と顔が（どの子の保護者なのか）わかるようにするために用意します。

(5) 保護者を迎えるための教室環境を整備する

授業参観や学級懇談で教室を多く利用します。これらは保護者に児童生徒の学校生活の場を知ってもらうよい機会になりますから、児童生徒の活動の様子がわかる教室や廊下でありたいものです。作品やレポートなど、教科等の授業での成果物の展示や、学級活動や児童会・生徒会活動の報告・連絡等を見てもらい、児童生徒の姿が出席した保護者の目に浮かぶような教室周辺環境づくりに努めます。



(6) 学級懇談会資料を作成する

当日の学級懇談等で活用する資料は、職員会議や学年会で検討した結果を反映し、

他の学年・学級と共通の足並みで作成するものと、自分の学級だけに関わるものとは分け、他の教師と互いに情報交換をしながら内容を決め、作成します。

2 授業参観で配慮・工夫すること

保護者は、普段、家庭での子どもの様子や日常の会話などから、学校での生活ぶりを認識しています。また、連絡帳や宿題等の提出物、教師が発信する通信物、作品や通知票などから学習の状況や実態を知って学校生活の全体像を把握します。これらは児童生徒を介したり、物を通したりして伝わる間接的な情報です。保護者に学校生活全体を知ってもらうには、ありのままの学校生活を直接見てもらうことが最も効果的な方法です。特に、学校生活の基本である授業参観は、児童生徒の実態を知ってもらうだけでなく、教師の指導もつぶさに見てもらふことになります。保護者会当日の授業参観は、実際の児童生徒と教師の姿を見てもらい、担任教師として学級経営上の説明責任を果たす重要な機会と言ってよいでしょう。来校した保護者に対して次のような配慮や工夫を施しましょう。



保護者は、普段、家庭での子どもの様子や日常の会話などから、学校での生活ぶりを認識しています。また、連絡帳や宿題等の提出物、教師が発信する通信物、作品や通知票などから学習の状況や実態を知って学校生活の全体像を把握します。これらは児童生徒を介したり、物を通したりして伝わる間接的な情報です。保護者に学校生活全体を知ってもらうには、ありのままの学校生活を直接見てもらうことが最も効果的な方法です。特に、学校生活の基本である授業参観は、児童生徒の実態を知ってもらうだけでなく、教師の指導もつぶさに見てもらふことになります。保護者会当日の授業参観は、実際の児童生徒と教師の姿を見てもらい、担任教師として学級経営上の説明責任を果たす重要な機会と言ってよいでしょう。来校した保護者に対して次のような配慮や工夫を施しましょう。

(1) 保護者の立場に立った案内や表示をする

来校時に保護者が迷うことのないよう、開催通知や学級通信等を通じて、当日の時間割（教科等）、指導者、授業の内容、教室の配置等が伝わるようにしておく。

当日は、保護者が教室に入りやすいよう表示を工夫する。

(2) 教室に保護者が入りやすいスペースを確保する

保護者が教室に進んで入室できるよう、出入口の戸を開放し、教室の側面・背面にスペースを確保した上で、児童生徒の座席位置を決めておく。

(3) 授業の見所がわかる学習指導案や資料を配布する

公開する教科等の授業の流れや指導の過程などをしたためた簡単な学習指導案（ガイド資料）があると、保護者が授業に参加でき、学級懇談や家庭での話題となって効果が上がる。

(4) 平素の児童生徒の活動の発表の場とする

日頃の児童生徒の学習や生活の成果を知ってもらう機会とするために、当日までに公開できる作品（書写、図画工作・美術等の作品）、作文やレポート、学級新聞などを教室に掲示・展示しておく。それぞれに教師のコメントがあるとよい。

(5) 児童生徒全員が活躍できる授業とする

授業の指導者として、どの保護者にも我が子の学習活動が印象付けられるよう、児童生徒の発言や発表、作業、活動の機会を公平に与えるようにする。児童生徒主体の発表やグループワークなど、全員が活躍できる場面を設けるとよい。

保護者の皆様
お忙しい中、御出席くださり、
ありがとうございます。
本日の授業「○○○○」
単元「○○○○」
について、資料を基に
グループで考えていく学習活動です。
発表する場面があります。ぜひ
ご覧ください。

当日の表示例（教室入口）

授業参観資料（本日の授業）

教科 ○○
単元 「○○○○」

- 1 ねらい
- 2 教育課程での位置付け
- 3 授業の流れ

導入	
展開	
終末	

- 4 ポイント（見所）

学習指導案（ガイド資料）例

年間に複数回の授業参観が計画される場合は、その都度、参観してもらう教科等を変え、児童生徒の表情・姿勢や教師の指導の変化等を見てもらうようにしましょう。

〔例〕第1学期…国語

第2学期…道徳

第3学期…学級活動



授業参観



3 学級懇談会で配慮・工夫すること

学級懇談会は、「子どもを育てる」という共通の目的をもった保護者と教師、保護者相互の協力関係を強める場です。学校と家庭、それぞれの生活から捉えた児童生徒の情報を共有し、よりよい成長のために絆を深めていきます。

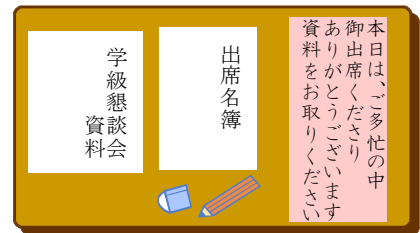
学級担任の教師には、(学級役員等の協力を得つつ) 話し合いを進行し、学校と家庭の共通の目標や行動を確認して、その後の学校・家庭双方の教育に生かしていくように方向付けを行うリーダーシップが求められます。学級懇談会を進行する上での配慮、工夫すべき点について考えてみましょう。

(1) 保護者の出席に感謝の意を表して、参会者を教室へ迎え入れる

多忙な中、家事や仕事の都合ををわけて出席してくれた保護者に対して、感謝の意を表して教室に迎え入れる。

① 教室入口

入口の脇に机や給食用配膳台等を置き、事前に準備した出席名簿、学級懇談会資料等の配布資料を並べ、名簿にチェックを入れて資料を取って入室してもらう。出席の御礼を言葉で表す。



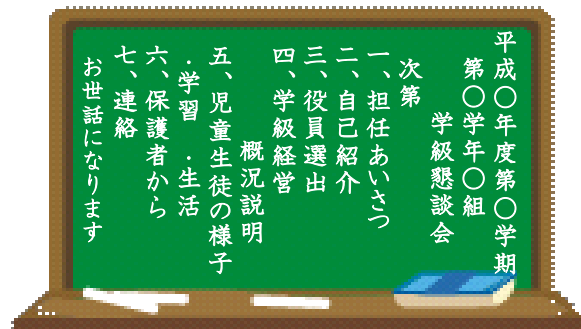
教室入口の机上 (例)

② 黒板

学級懇談会の内容(進行)が参会者にわかるように次第を板書しておく。ここでも出席への謝意を表す一言を入れる。

③ 座席

学級経営の説明を行う学級担任や進行役として協力くださる学級役員を前面としたコの字・口の字・円形の配置が一般的。参会者が互いの顔を見て話ができるようにするため。



教室の板書 (例)

(2) 学級懇談会の内容を決め、進行する

① 年度当初の学級懇談会

- 1 学級担任あいさつ(自己紹介を含む)
- 2 保護者自己紹介
- 3 役員選出(P T A等の会則等に基づき、必要に応じて行う)
- 4 学級経営方針(学級経営案の説明)
 - (1) 学校経営方針、児童生徒の実態、家庭・地域からの要請等
 - (2) 教育目標 ○学校教育目標 ⇒ ○学年目標 ⇒ ○学級目標
 - (3) 教育目標達成のための学級経営(方策、手だて)
- 5 ここまでの児童生徒の学校生活の様子
 - (1) 学習面(各教科等の授業の様子、児童生徒の特徴、課題など)
 - (2) 生活面(登校から下校に至るまで一日の児童生徒の性格・行動上の特徴、課題)
- 6 今年度の予定(年間の主な行事・取組等と、それらへの協力をお願い)
- 7 保護者から(保護者の意見、担任への質問、互いの情報交換など)
- 8 連絡



年度最初の学級懇談では、学級担任と保護者との顔合せと学級経営方針(教育目標の設定とその達成のための方策)の説明がポイントとなります。

